



### 急流との対話

川は生きている。それは人間の人生に似ている。そしていつも同じ顔ではない。七人の若者は彼女に会いにやって来た。そして今、彼らは楽しげに彼女と話をしている。きのうまでは千曲川そして今日は、信濃川。

G（グレード）3の瀬を下る。グレードとは瀬の等級で1～10まであり数が多くなるに従って困難になる。



富士川を遡る



千曲川 上田周辺にて



風まかせ  
信濃川



7月21日

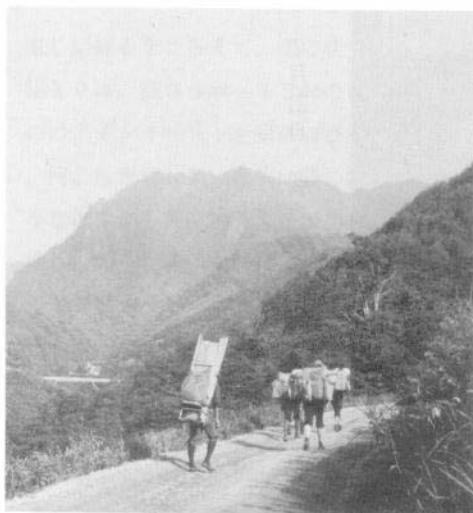
我々は富士川にやつて來た

瀬の中をファルト・ボートを引いて遡る  
隊員 2日目からこの調子では.....



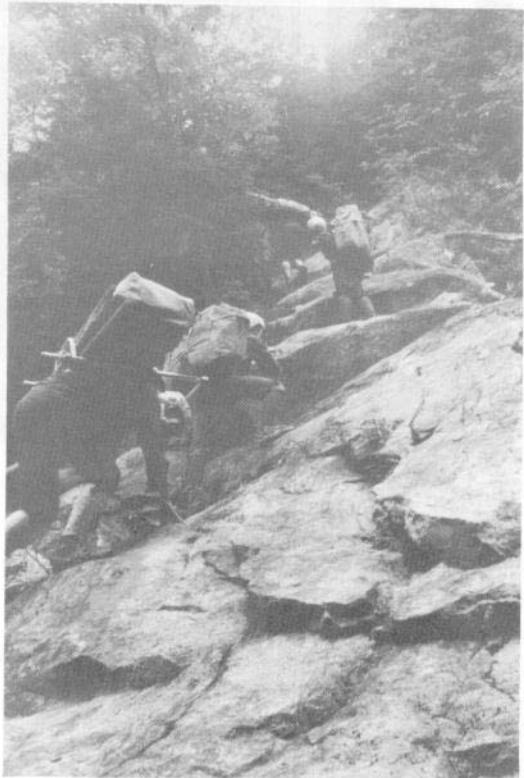
甲府めざして遡れ! 遡れ!





山越え

後方に見えるのは鶴冠尾根



沢登り 東沢上部にて



千曲川

堰堤を越える 何個もあるうちのほんの一つ



川を下り始めて初めての瀬 **G4** (居食周辺にて)

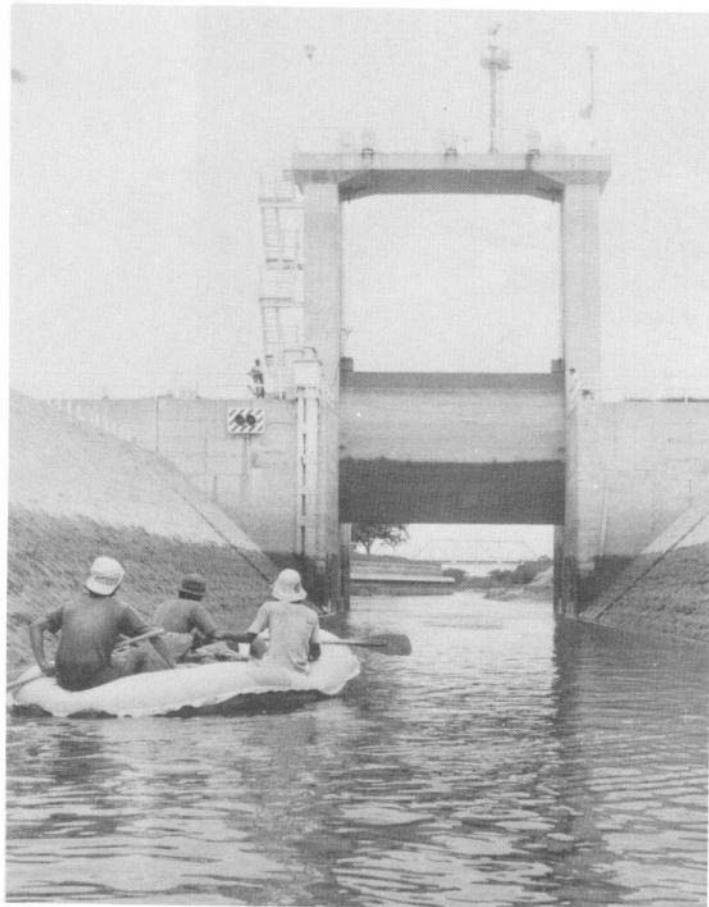


かような浅瀬がいく度と  
なく我々の航行を妨げる

解体・組み立ての連続技



旧信濃川へ  
めざすは日本海（大河津閘門にて）



## ゴール

31日間の旅もあと300mで  
で終ろうとしている  
(新潟港にて)

